



群馬イノベーションフォーラム in 高崎

起業家生む風土を

「本気で働く」きっかけ

31日に開かれた群馬イノベーションアワード(GIA)の意義を語る群馬イノベーションフォーラムin高崎では、4人のパネリストが登壇。人口減少社会の中で「起業家を生み出す土壌や風土をつくる」ことが、地域活性化につながるなどと熱い議論を交わした。

魅力

「成長できる道を選ぶ権利があることを地元若者に伝えたい」と思い立ち上げた。GIAとの関わり、プロジェクト参画の魅力は、

田中 自分はビジネスを愛している。何の置き、異質な世界と取りえなかった子どもが、困難から逃げずに壁を乗り越える過程を経験、今ここに立つる前、60歳を前に「自

分は観客席かベンチの中で」という意識になっていた。しかし、ここで刺激を受け、まだ傍観者は早いと考え直した。今年、ドローン会社を立ち上げた。「起業したいから」と、滋賀から県内の大学に進学した高校生が

意義

「関口 地域にとって起業家ってどんな意義があるか。田中 日本でも世界でも活力があるのは起業家を生み出している地域。地域をよくするのあり方、将来は産業のあり方、

群馬から世界に挑戦

「この活動は、生きていると感じることもある。こういう人たちが増え、将来的にここで働きたい」という魅力ある会社が増えれば群馬の力にもなる。佐藤 開業するタイミングで群馬イノベーションスクールに参加

シリコンバレー研修した。さらに二つの会社を立ち上げる。関口 会社ではどうイノベーションに取り組んでいるか。田中 自分は創業90年を迎える。だからこそ改革すべきところはない。9年たつて県外出身者の6割がペガサスを卒業後も県内に住んで働き、野球の指導などで活躍している。ドローンの新会社も、技術が集まる群馬の地で日本に世界に試してみようと思っ



上毛新聞社 北村幸雄社長

全国からも注目

群馬イノベーションアワード(GIA)は今年5年目を迎える。群馬発のイノベーションは今、全国から注目を集めている。群馬のイノベーションは、ぜひ高崎の地で

社員、現場と喜びを共有

助言

関口 自分として大切にしていること、GIA応募者に大切にしたい視点などアドバイスを。佐藤 群馬がいつまでも元気の群馬でいてほしいです。ね、という思いをあらためて投げ掛けた。自分の家庭や会社を守って、その上で自分の範囲でやれることはある。それがその時代にその地域に生きてきた者の責務だと思っ

業界の常識変える 自ら考え行動移す

若者に成長の道を 生き残りへ種まき

冬木工業社長 大竹良明氏



おおたけ・よしあき 総合建設業、冬木工業代表取締役社長。銀行勤務を経て、2003年に冬木工業入社、08年より現職。1960年3月、安中市生まれ

高崎佐藤眼科院長 佐藤 拓氏



さとう・たく 高崎佐藤眼科院長。元群馬大学医学部眼科講師。群馬イノベーションアワード2016ファイナリスト。1971年4月、宮崎市生まれ

糸井商事社長 糸井丈之氏



いとい・たけゆき 鉄鋼卸売業、糸井商事代表取締役社長。BCリーグ、群馬ダイヤモンドペガサスの球団会長。1954年7月、高崎市生まれ

ジンスCEO 田中 仁氏



たなか・ひとし 眼鏡チェーン、ジンス創業者で代表取締役社長。群馬イノベーションアワード実行委員長。1963年1月、前橋市生まれ



コーディネーター 関口雅弘 編集主幹兼論説委員長



交流会で歓談する来場者

異業種の経営者交流

シンポジウム後には交流会が開かれ、出席者が懇話しながらさまざまな業種の経営者らと親交を深めた。上毛新聞社の鎌田一郎事業局長は「イノベーションは人のつながり(かける)情熱。群馬からイノベーションののろしを上げて取り組んでいきたい」とあいさつ。群馬銀行の堀江信之事務局長は「協賛社が連携して深く交流し、GIAがますます盛り上がりつつある」と述べた。高崎市内に拠点を置くパートナーズ社・団体の代表者もあいさつした。

求む、出る杭!

エントリー 9/30まで 募集!

群馬イノベーションアワード2017

- 募集部門** ①ビジネスプラン部門 ▷高校生の部 ▷大学生・専門学校生の部 ▷一般の部 ②スタートアップ部門 ③イノベーション部門
- 審査** 1次(書類)10月上旬/2次(プレゼンテーション)11月上旬 ファイナルステージ12月2日(土)(ヤマダグリーンホール前橋)
- 特典** 米国・シリコンバレー視察研修など

エントリーは公式ウェブサイトから! <http://www.gi-award.com>
問い合わせ 上毛新聞社事業局 ☎027-254-9955 (平日午前9時~午後5時)

トピックス

慶大が高校生の起業支援
GIA実行委員会は慶応大湘南藤沢キャンパス(SFC)と連携します。ビジネスプラン部門・高校生の部の入賞者がSFCのゼミでビジネスプランを磨き、アドミッションズ・オフィス(AO)入試に挑む道筋を示します。奨学金制度も導入し、新たに米国・シリコンバレー研修にも参加できます。

